



琵琶湖周航の歌100周年記念・周航する音楽祭

加藤登紀子プロデュース・県民参加型コンサート

第4回

びわ湖音楽祭

題字/秀蓮



2022

6.12 SUN

開場/15:30 開演/16:00

[チケット販売開始] 4月16日(土)

- びわ湖ホールチケットセンター(現金・窓口販売のみ)
☎077-523-7136(受付10:00~19:00)
〈火曜日休館、休日の場合は翌日休館〉
- びわ湖芸術文化財団オンラインチケット
<https://biwako-arts.or.jp/rd/>
- 平和堂くらしのサービスセンター
アル・プラザ彦根 ☎0749-24-4196
アル・プラザ長浜 ☎0749-65-7720
アル・プラザ近江八幡 ☎0748-31-2906
ビバシティ平和堂 ☎0749-27-5585
- 長浜文化芸術会館 ☎0749-63-7400

一般/前売4,000円 当日5,000円

青少年/前売2,000円 当日2,500円

(25歳未満) (全席自由席) ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

[まちなか企画]

ストリートびわ湖音楽祭 in 長浜

6月12日(日) 11:00~15:30

軽音楽ライブ/県内高等学校軽音楽部 など

えきまちテラス長浜 イベント広場

担当: ~ Lefa ~ 北川陽大

村田良(滋賀県高等学校軽音楽部会代表幹事)

[会場] 長浜文化
芸術会館

滋賀県長浜市大島町37

TEL.0749-63-7400

FAX.0749-63-7401

- 主催: 公益財団法人びわ湖芸術文化財団、びわ湖音楽祭実行委員会
- 共催: 公益財団法人長浜文化スポーツ振興事業団
- 後援: 滋賀県教育委員会、長浜市、長浜市教育委員会、ソニー・ミュージックダイレクト、ユニバーサルミュージック、登紀子倶楽部
- 令和4年度 滋賀県アートコラボレーション事業 (この事業はびわ湖音楽祭実行委員会と(公財)びわ湖芸術文化財団が協働して実施しています。)

■お問い合わせ びわ湖音楽祭実行委員会事務局 〒520-0044 大津市京町2丁目4-23
TEL.080-3841-4252(担当:小松) Mail / ongakusai100@gmail.com

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対応措置をとっての開催となりますので、マスクの着用や検温等へのご協力をお願いいたします。
- 当日、体調に不安のある方はくれぐれもご無理なさらないようお願いいたします。
- 感染症予防対策をはじめ、やむを得ず出演者・プログラム、当日の対応等に変更が生じる場合があります。ご理解、ご協力をお願いいたします。



出演者プロフィール

加藤 登紀子

『琵琶湖周航の歌』『百万本のバラ』『知床旅情』など音楽シーンに残る数々の名曲・ヒット曲を生み出す。カーネギーホールでの2回のコンサートを成功させるなど日本を代表するアーティストとして活躍。女優として『居酒屋兆治』に出演、宮崎駿監督の『紅の豚』では声優としての魅力も発揮した。日本訳詩家協会会長。『生きている琵琶湖』を作词、作曲。

- 最新CD 3枚組アルバム「花物語」(ユニバーサルミュージック)
- 近著「哲さんの声が聞こえる」加藤登紀子(合同出版)
- YouTubeで「登紀子土のライブ」を毎月11日に配信。



舞台の幕間をつなぐ「琵琶湖周航の歌」創作落語。

創作落語「琵琶湖周航の歌」は、本音楽祭実行委員の奥村氏が創作されました。伝統的な話芸が、歌詞に込められた琵琶湖周航の情景と物語の世界を広げます。1部の県民参加ステージで、高座に上がり幕間のナビゲーターを担うのは、落語家の川柳つくしさんです。

川柳 つくし (かわやなぎ つくし) 落語家。

平成9年、川柳川柳(かわやなぎ せりゅう)に入門し、前座となる。平成12年、二つ目昇進。平成25年、真打昇進。

自作の新作落語や、わかりやすい独自のアレンジを加えた古典落語などを持ちネタとする。時事ネタや世相を反映したネタも多数。音楽やミュージシャンを題材としたロック落語なども手掛けており、音楽祭や音楽イベントなどにも呼ばれて披露しています。ウクレレを使ったウクレレ落語を披露することもあります。



ACCESS

長浜文化芸術会館 (滋賀県長浜市大島町37)

TEL.0749-63-7400 FAX.0749-63-7401

【 JR長浜駅から徒歩約8分 】



※長浜文化芸術会館には駐車場がないため、公共の交通機関をご利用いただくか、周辺の公共駐車場をご利用ください。

長浜バイオ大学吹奏楽部

創立してから10年以上も続く部活動で、過去には吹奏楽コンクールに参加していました。現在は地域での依頼演奏を主な活動内容としており、18回目となる定期演奏会を昨年12月に長浜文化芸術会館にて開催。今回のステージには、OB、OGにも参加いただき、特別編成で演奏を披露します。



長浜バイオ大学「悠久の街」市民コーラス

長浜バイオ大学の校歌「悠久の街」は、加藤 登紀子さんの作词・作曲です。「悠久の街」とは長浜市のことで、歌詞には大学のみならず市民にも愛唱してほしいとの加藤さんの長浜市への熱い思いが込められています。

出演の市民コーラスは、地元地域でそれぞれ活動していますが、長浜バイオ大学の入学式、卒業式、学園祭などで「悠久の街」を歌唱しています。また、「琵琶湖周航の歌」100周年を期して、「長浜音楽祭」、「彦根音楽祭」、高島市での「琵琶湖周航の歌音楽祭合唱コンクール」、「日本のうたごえ祭典 in 京都」などでも披露しました。「第3回びわ湖音楽祭」で初めて、加藤さんと市民コーラスとの歌唱が実現しました。



長浜小学校合唱団

平成21年に同校のふれあい芸術祭で上演された演劇「二宮金次郎物語」の合唱隊を務めた児童らを中心に翌22年に結成。毎年の定期演奏会ではブロードウェイの人気ミュージカルを巧みなアレンジで上演して話題を集めているほか、NHK全国学校音楽コンクールやMBS子ども音楽コンクールへの出場や地域のイベントに参加し澄んだ歌声で人々の心を魅了し続けています。

現在はコロナ禍で練習が中断するなど苦しい状況の中、合唱が好きという想いを大切に仲間と歌うことに喜びを感じている子供たちが集い、コロナに負けずにたくましく活動をしています。



和太鼓は世界をつなぐ滋賀夢プロジェクト

通称「夢プロ」は、和太鼓の持つ魅力や可能性を最大限に活かし、チーム、年齢、性別、国境、障害の有無などの様々な違いを越え、人と人をつなぐ機会や場作りにチャレンジし



ようと2018年から活動を始めました。湖北や湖東エリアで会の趣旨に賛同する個人約50人が参加、月1回程度ゆるやかに集まりながら、太鼓やエイサーを習ったり、メンバー同士の交流をしたりしています。

私たちは、和太鼓でつながるこのチャレンジによって人々を元気にし、笑顔と平和の輪が広がっていくことを真剣に目指しています。